

講義コード	1212	科目区分	専門教育科目(社会福祉士関連科目)
(フリガナ)	シヤカイフクシエンジョギジュツゲンバジツシュウシドウイチ	(フリガナ)	ウメキ モトシ ヨコヤマ ジュンイチ
授業科目名	社会福祉援助技術現場実習指導 I	担当教員名	梅木 幹司 横山 順一
英文授業科目名	Guidance of Social work practicum I		
基準年次(開講期)	3年次(後期)	履修形態	選択(社会福祉士受験資格取得必修科目)
曜日/時限/講義室	木曜日/5時限		
授業の方法	実習	授業の方法 (詳細情報)	講義、課外学習、主体的学習
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	社会福祉士倫理綱領、実習日誌、実習計画、利用者理解、職種理解		
授業概要・目的	利用者理解、職種理解を目的とした「社会福祉援助技術現場実習 I」に向けての学習を行う。実習の事前学習として、グループワークや個別指導を通じて実習分野や実習施設等について理解し、実習における各自の目標、計画について考察する。また、実習に向けた準備として、社会福祉士の関わる分野や施設等に関する理解を深め、実習指導者とともに各自の実習を組み立てて実習に臨む。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習の意義について理解する。</li> <li>・事前・事後学習を通じて、実習先についての理解を深めることができる。</li> <li>・相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的理解し、実践的な技術等を体得する。</li> </ul>		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 相談援助実習の意義と今後の予定		
第2回	相談援助実習の指導 相談援助実習・実習指導における個別・集団指導の意義		
第3回	実習分野の理解① 実習先の施設・事業者・機関・団体等に関する理解		
第4回	実習分野の理解② 実習先の施設・事業者・機関・団体等に関する理解		
第5回	関連業務の理解 実習先の関連業務に関する基本的理解		
第6回	現場体験学習① 現場体験学習及び見学実習		
第7回	現場体験学習② 現場体験学習及び見学実習		
第8回	相談援助の理解 実習先で必要とされる相談援助の理解		
第9回	個人情報等について 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務等の理解		
第10回	実習日誌 実習日誌の記録内容、記録方法に関する理解		
第11回	実習計画作成① 実習担当教員を含む協議による実習計画の作成		
第12回	実習計画作成② 実習指導者を含む協議による実習計画の作成		
第13回	巡回指導① 実習担当教員による巡回指導		
第14回	巡回指導② 実習担当教員による巡回指導		
第15回	実習の振り返り 実習の振り返りと総括		
教科書・参考書等	「ソーシャルワークハンドブック」至誠館大学		
授業で使用する 機器等	毎回、資料を配付する。		
予習・復習への アドバイス	ソーシャルワークハンドブックは各自で熟読すること。 社会福祉士倫理綱領について熟読し理解すること。		
履修上の注意・ 受講条件等	社会福祉士受験資格取得を希望する人は必ず履修してください。 先修要件科目のため、この科目の単位不認定者は社会福祉援助技術現場実習指導 II を履修することはできない。		
成績評価の基準等	出席回数が2/3に満たない者は単位認定を行わない。また、社会福祉援助技術現場実習 I を履修することはできない。 社会福祉援助技術現場実習 I と連動して総合的に評価を行う。		
メッセージ	社会福祉援助技術現場実習 I の事前・事後学習を目的とした科目であるため、積極的かつ真剣に授業に臨んでください。		
オフィス・アワー	発表掲示後は、気軽に訪問してください。		
その他			